



2012年度 決算説明会

2013年5月10日

代表取締役社長 手代木 功



塩野義製薬株式会社

2012年度 決算の概要

経営成績（連結）

（単位：億円）

	2012年度 通期予想※	2012年度 実績	対予想		2011年度 実績	対前年	
			達成率 (%)	差異		UP率 (%)	増減額
売 上 高	2,830	2,829	100.0	△1	2,673	5.8	156
営 業 利 益	560	588	105.1	28	470	25.2	118
経 常 利 益	540	589	109.1	49	461	27.8	128
当 期 純 利 益	320	667	208.5	347	271	146.2	396

● 各利益面は、通期実績としていずれも過去最高益

注：表記は億円未満を四捨五入

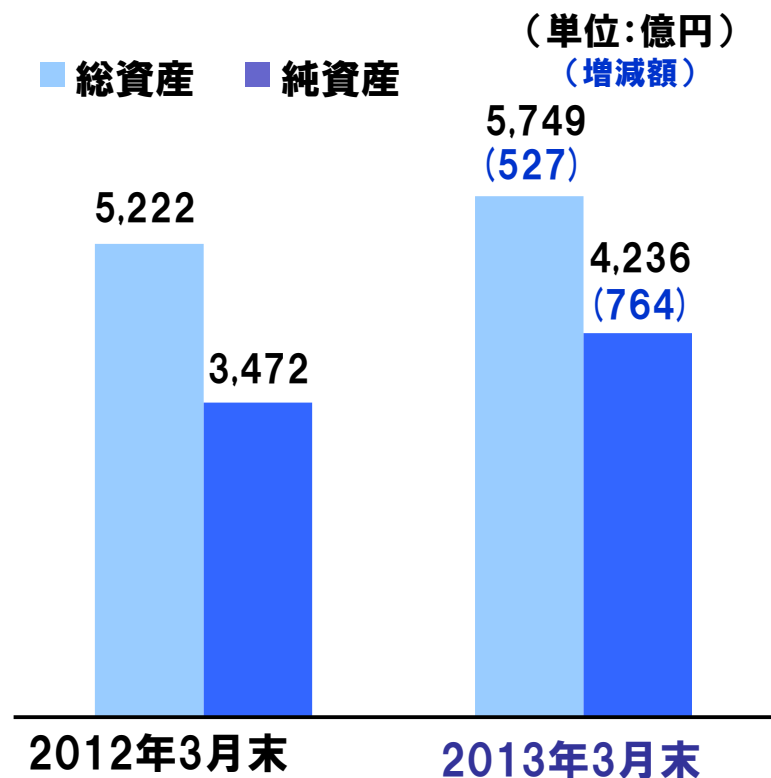
2012年度より、有形固定資産の減価償却方法を、従来主として採用していた定率法から定額法に変更しました。この変更により、当連結会計期間の営業利益は33億円、経常利益は34億円増加しております。

（単位：円）

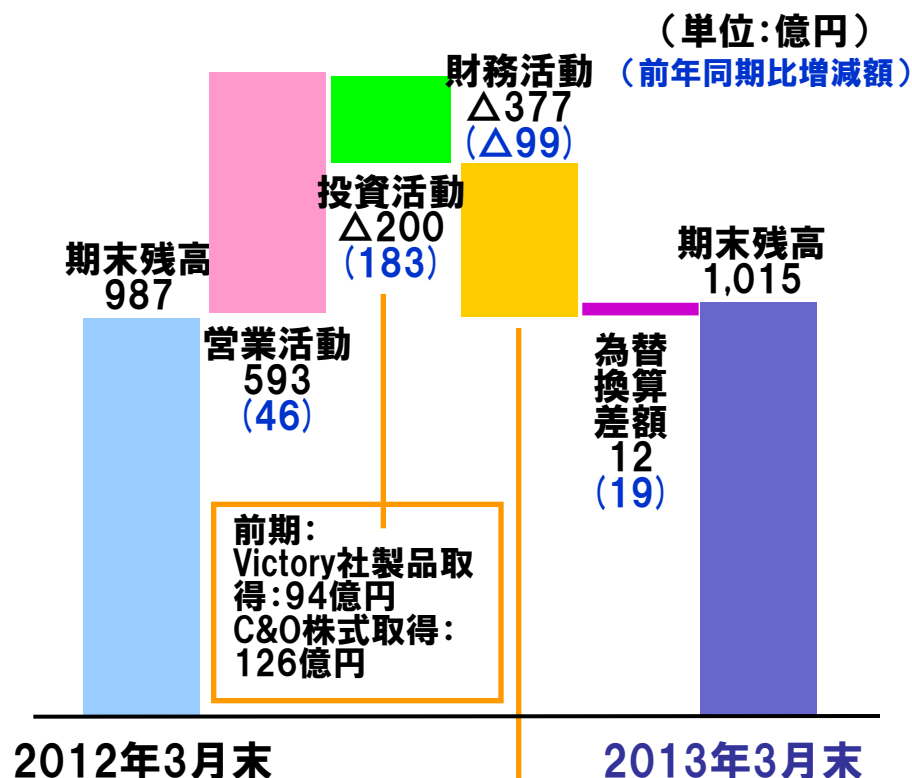
為替レート(期中平均)	2012年度前提	2012年度実績	2011年度実績	対前年比較
ド ル	80	82.95	79.06	3.89 円安
ユ ー ロ	105	106.83	109.00	2.17 円高

財政状態およびキャッシュ・フローの状況（連結）

◆ 財政状態



◆ キャッシュ・フローの状況



	2012年3月末	2013年3月末
自己資本比率	65.9%	73.1%

当期:
社債の償還:100億円

損益計算書(連結)

	2012年度		対予想		2011年度	対前年	
	予想※	実績	達成率(%)	差異	実績	UP率(%)	増減額
売上高 (ロイヤリティー収入)	2,830 691	2,829 698	100.0 101.1	△1 7	2,673 687	5.8 1.7	156 11
売上原価	28.3 (37.4) 800	27.8 (36.9) 786	98.2	△14	29.1 (39.1) 778	1.1	8
売上総利益	2,030	2,043	100.7	13	1,895	7.8	148
販売・管理費 一般管理費	51.9 1,470	51.4 1,455	99.0	△15	53.3 1,425	2.1	30
販売・管理費	940	925	98.4	△15	889	4.0	36
研究開発費	530	530	100.0	0	536	△1.1	△6
営業利益	19.8 560	20.8 588	105.1	28	17.6 470	25.2	118
営業外収支	L20	P1	-	21	L9	-	10
経常利益	19.1 540	20.8 589	109.1	49	17.2 461	27.8	128
特別損益	L3	L6	197.4	△3	L46	-	40
税引前利益	537	583	108.6	46	415	40.5	168
法人税等	217	△84	-	△301	144	-	△228
当期純利益	320	667	208.5	347	271	146.2	396

※ 2012年11月2日に発表された業績予想。
2013年4月22日に本業績予想を修正したものを公表しています。

注: 赤字は売上高に対する割合
()内はロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合

当期業績の予想※との差異について

◆ 営業利益

- 費用の適正化、効率化推進による販売費・一般管理費の削減

◆ 経常利益

- 円安による外貨建て資産にかかる為替差益の発生

◆ 特別損益

- ViiV社との枠組み変更に伴う特別損益：L4億円
 - 投資有価証券交換益：P404億円
 - 無形固定資産の減損(のれん・販売権など)：L408億円
- その他特別損益(固定資産・投資有価証券関連など)：L2億円

◆ 税金費用の減少

- 単体決算において計上していたシオノギ Inc.に係る関係会社株式評価損について、税務上一部を損金算入
- 繰越欠損金に対する税効果も含め、当期の税金等の費用が大幅に減少

※ 2012年11月2日に発表された業績予想。2013年4月22日に本業績予想を修正したものを公表しています。



事業別・製品別売上高（連結）

（単位：億円）

	2012年度		対予想		2011年度	対前年	
	予想	実績	達成率 (%)	差異	実績	UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,686	1,657	98.3	△29	1,644	0.8	13
戦略3品目 合計	578	585	101.2	7	513	14.1	72
戦略8品目 合計	845	842	99.7	△3	732	15.0	110
海外子会社 / 輸出	283	※ 306	108.2	23	170	80.3	136
シオノギ Inc.	155	170	109.5	15	58	190.2	112
C&O	56	58	103.8	2	19	201.2	39
ドリペネム	18	25	136.8	7	42	△41.8	△17
製造受託	76	73	95.4	△3	76	△4.6	△3
一般用医薬品	51	52	101.2	1	50	2.8	2
診断薬	24	22	92.0	△2	27	△18.4	△5
ロイヤリティー収入	691	698	101.1	7	687	1.7	11
クレストール	630	630	99.9	△0	647	△2.7	△17
その他	19	21	108.8	2	19	7.8	2
合計	2,830	2,829	100.0	△1	2,673	5.8	156

戦略8品目：クレストール、イルベタン、サインバルタ（以上、戦略3品目）、オキシコンチン、フィニバックス、ディフェリン、ピレスバ、ラピアクタ

※ 台湾塩野義：決算期の変更により、2012年1月-2013年3月の15ヶ月分を計上

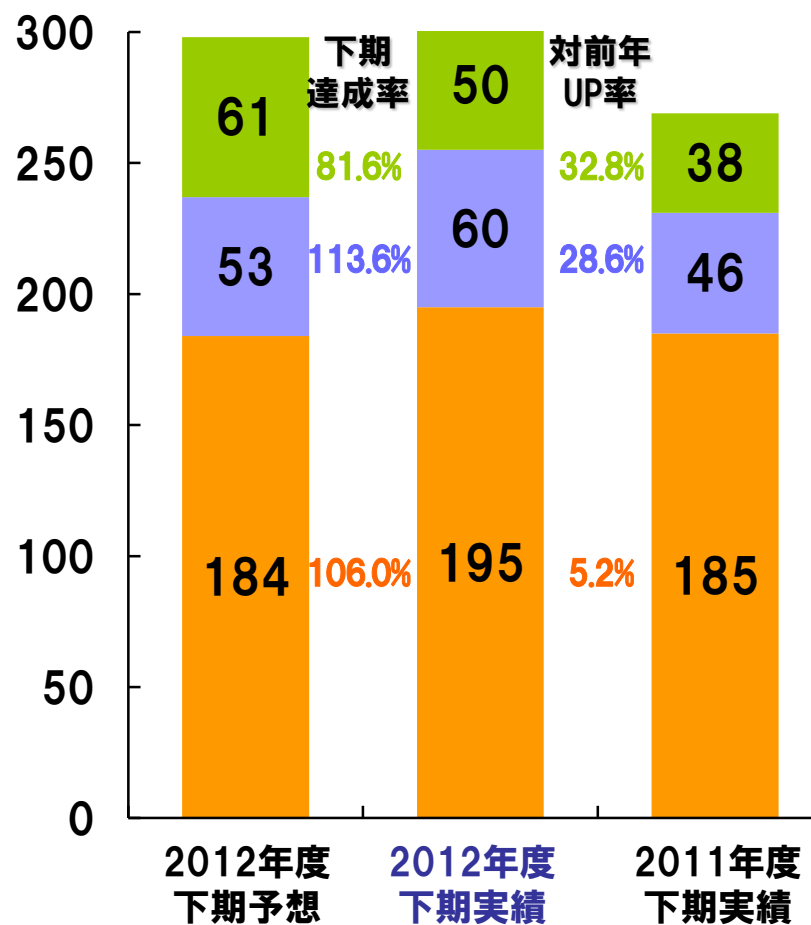
C&O：2011年10月連結子会社化、12月期決算につき、実績は2012年1-12月分を計上（2011年度は2011年7-12月）

国内：戦略品目売上高（下期）

（単位：億円）

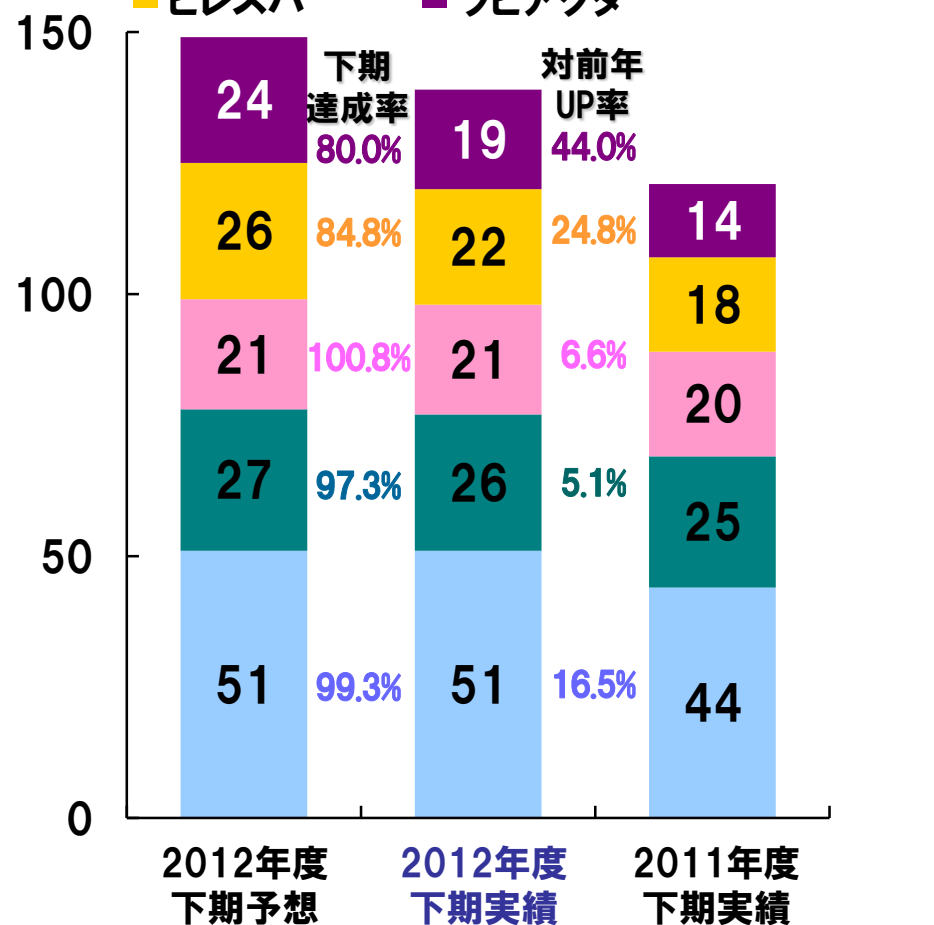
◆ 3品目

■ クレストール ■ イルベタン ■ サインバルタ



◆ 5品目

■ オキシコンチン ■ フィニバックス ■ ディフェリン
■ ピレスパ ■ ラピアクタ

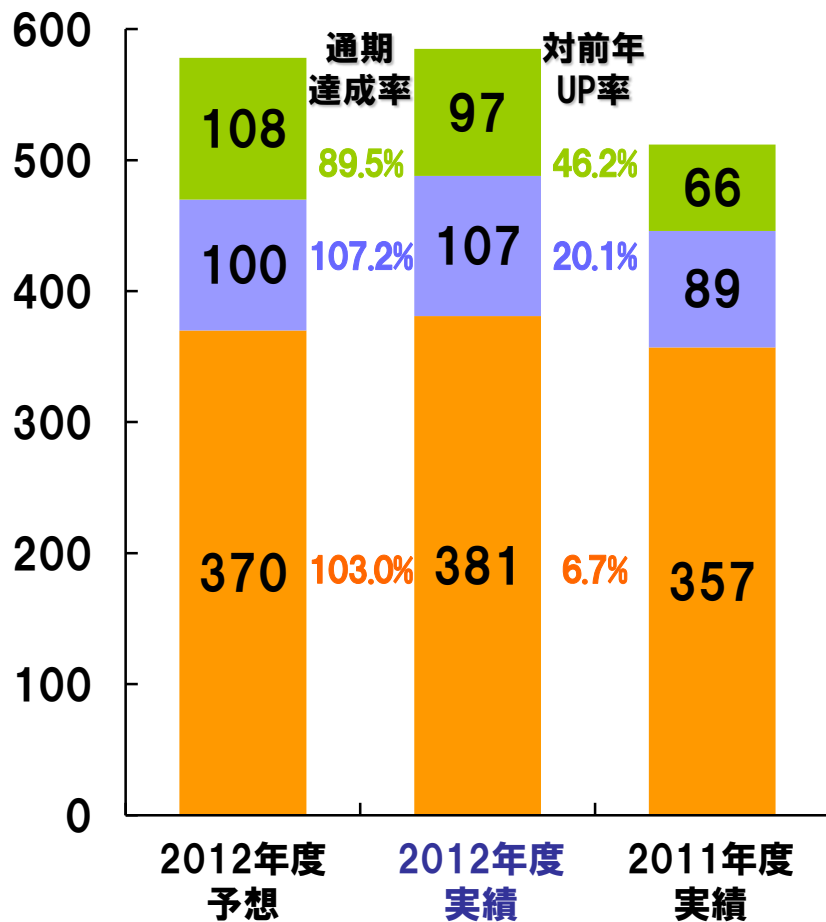


国内：戦略品目売上高（通期）

（単位：億円）

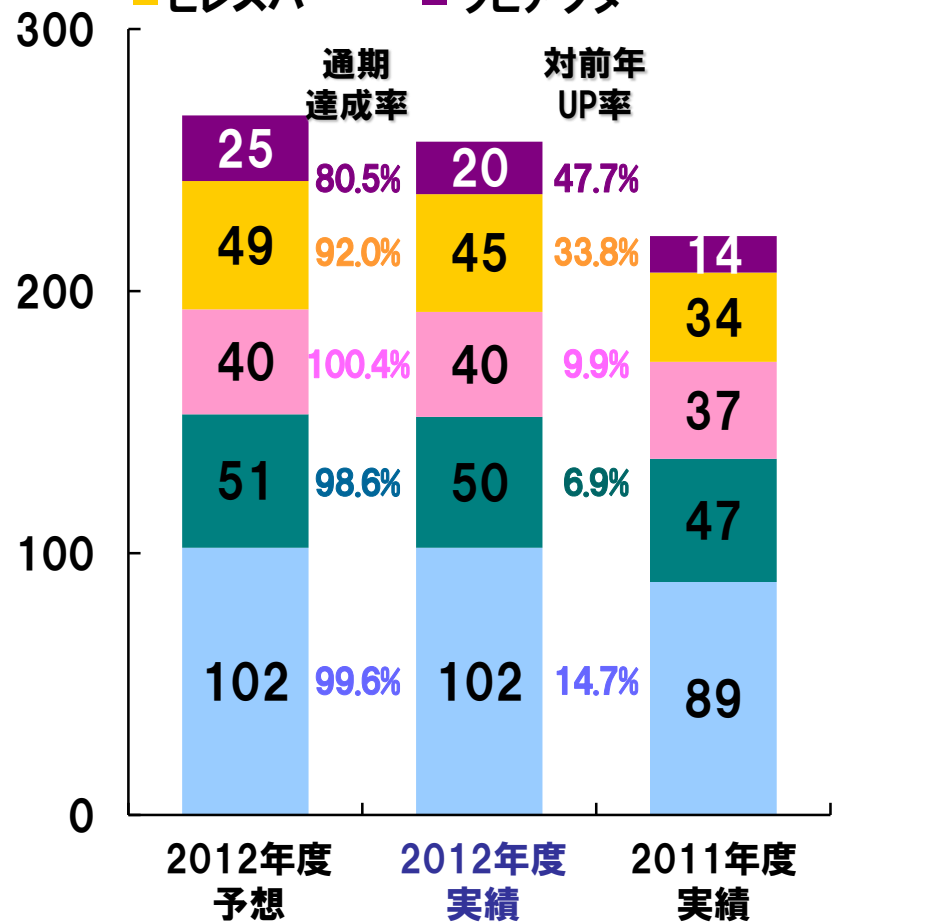
◆ 3品目

■ クレストール ■ イルベタン ■ サインバルタ



◆ 5品目

■ オキシコンチン ■ フィニバックス ■ ディフェリン
■ ピレスパ ■ ラピアクタ



シオノギ Inc.の業績内容

(単位:百万ドル)

	2012年度				対予想 達成率 (%)	2011年度
	予想	上期実績	下期実績	通期実績		実績
売上高	194 (155億円)	94 (75億円)	110 (95億円)	205 (170億円)	105.6	74 (58億円)
売上原価	26 (20億円)	16 (12億円)	11 (9億円)	26 (22億円)	102.8	29 (23億円)
販売・ 一般管理費	206 (165億円)	106 (84億円)	78 (69億円)	184 (153億円)	89.3	191 (151億円)
営業利益	△38 (△30億円)	△27 (△22億円)	21 (17億円)	△6 (△5億円)	-	△146 (△115億円)

注:外貨ベースでの達成率のため、円貨ベースでの達成率と異なります

C&Oの業績内容

(単位:億円)

	2012年度				対予想 達成率 (%)	2011年度
	予想	上期実績	下期実績	通期実績		実績※
売上高	56	29	29	58	103.8	19
営業利益	5	3	3	6	124.9	△1



総括

◆ 国内営業

- 戦略8品目の伸長(前年比15.0%増)により、薬価改定による売上減少分を吸収
- 医療用医薬品に占める戦略8品目の割合は50.8%に拡大

◆ クレストールロイヤリティ

- アストラゼネカ社のグローバルセールスの減少により前年比2.7%のダウン

◆ シオノギ Inc.

- 戦略品目の伸長、売上控除項目の継続的な見直し、コスト管理の徹底に加えて、無形固定資産の減損処理に伴う償却費負担の軽減により、収益性が改善
- 下期トータルで営業黒字を達成
- Osphena™の承認を取得(2013年2月26日)

◆ C&O

- 通期で安定した事業運営を継続するとともに、事業拠点としての強化を推進

◆ コストコントロール

- 製造コストの改善を伴う諸施策の実施により、原価率の目標を超過達成
- 全社レベルでより一層効率的な行動に取り組んだ結果、販管費の削減を実現

グローバル開発品の2012年度の成果

主要なグローバル開発品		2012年 3月末時点	2012年度の進展目標 下段:2012年度の成果
Ospemifene	閉経後膣萎縮症	米国: 申請準備中	米国:申請 米国:承認(2013年2月)、欧州:申請(2013年3月)
S/GSK1349572* (Dolutegravir)	HIV感染症	グローバル: Phase III	グローバル:申請 欧米加:申請(2012年12月)
S-297995 (Naldemedine)	オピオイド投与による副作用緩和	日米:Phase IIb	日米:Phase IIb投薬完了、開鍵、各極規制当局との協議実施 日本:Phase IIb開鍵、グローバル:Phase III準備中
S-555739	アレルギー性鼻炎	日本:Phase IIb 米国:Phase I	日本:Phase IIb投薬完了、開鍵、米国:Phase IIa投薬開始 日本:SAR Phase III投薬完了、米国:Phase IIa投薬完了
S-888711 (Lusutrombopag)	血小板減少症	日本:Phase IIa	日本:Phase IIb開始 日本:Phase IIb投薬完了
S-288310	膀胱がん	アジア: Phase I/II	日本:Phase I/II試験結果により、Go/No Go判断 日本:経過追跡中
S-488410	食道がん	日本: Phase I/II	日本:Phase I/II試験結果により、Go/No Go判断 日本:経過追跡中
S-488210	頭頸部がん	欧州: Phase I/II IND	欧州:Phase I/II投薬開始 欧州:Phase I/II投薬開始
S-646240	加齢黄斑変性症	日本: Phase IIa IND	日本:Phase IIa投薬開始 日本:Phase IIa投薬開始



2013年度 業績予想

業績予想（連結）

（単位：億円）

	2013年度予想		2012年度実績	対前年	
	通期	上期		UP率 (%)	増減
売上高	2,870	1,380	2,829	1.4	41
営業利益	600	240	588	2.0	12
経常利益	590	240	589	0.1	1
当期純利益	370	145	667	△44.6	△297

（単位：円）

為替レート(期中平均)	2013年度前提	2012年度実績
ドル	95	82.95
ユーロ	120	106.83

営業利益予想（連結）

（単位：億円）

	2013年度予想		2012年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率 (%)	増減額
売上高 (ロイヤリティー収入)	2,870 650	1,380 310	2,829 698	1.4 △6.9	41 △48
売上原価	28.2 (36.5) 810	28.3 (36.4) 390	27.8 (36.9) 786	3.1	24
売上総利益	2,060	990	2,043	0.8	17
販売・管理費 一般管理費	50.9 1,460	54.3 750	51.4 1,455	0.4	5
販売・管理費	930	480	925	0.6	5
研究開発費	530	270	530	△0.0	△0
営業利益	20.9 600	17.4 240	20.8 588	2.0	12

注：赤文字は売上高に対する割合

（）内はロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合



事業別・製品別売上高（連結）

（単位：億円）

	2013年度		2012年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,706	831	1,657	2.9	49
戦略3品目 合計	659	325	585	12.7	74
戦略8品目 合計	931	450	842	10.5	89
海外子会社 / 輸出	318	144	※ 306	3.9	12
シオノギ Inc.	202	90	170	19.0	32
Osphena™	55	8	-	-	55
C&O	60	29	58	3.2	2
製造受託	108	52	73	48.9	35
一般用医薬品	51	27	52	△1.2	△1
診断薬	17	6	22	△23.0	△5
ロイヤリティー収入	650	310	698	△6.9	△48
クレストール	620	295	630	△1.5	△10
その他	20	10	21	△3.3	△1
合計	2,870	1,380	2,829	1.4	41

※ 台湾塩野義：決算期の変更により、2012年度実績は2012年1月-2013年3月の15ヶ月分を計上

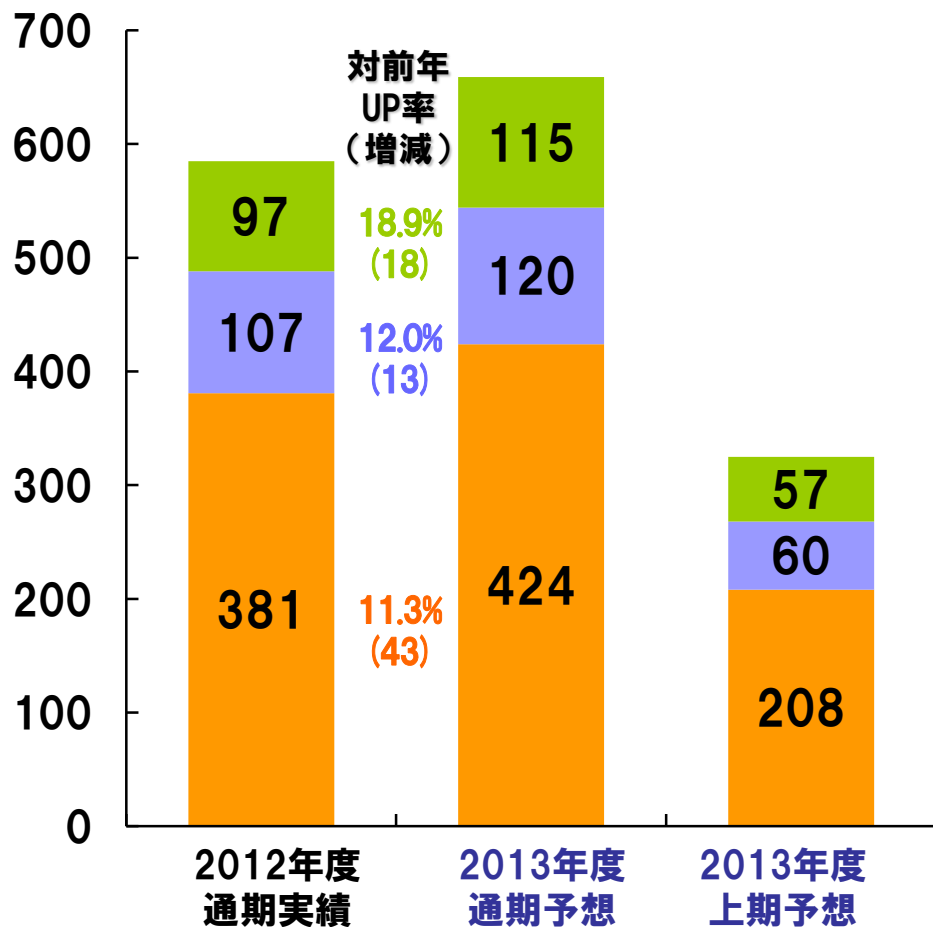


国内：戦略品目売上高

(単位:億円)

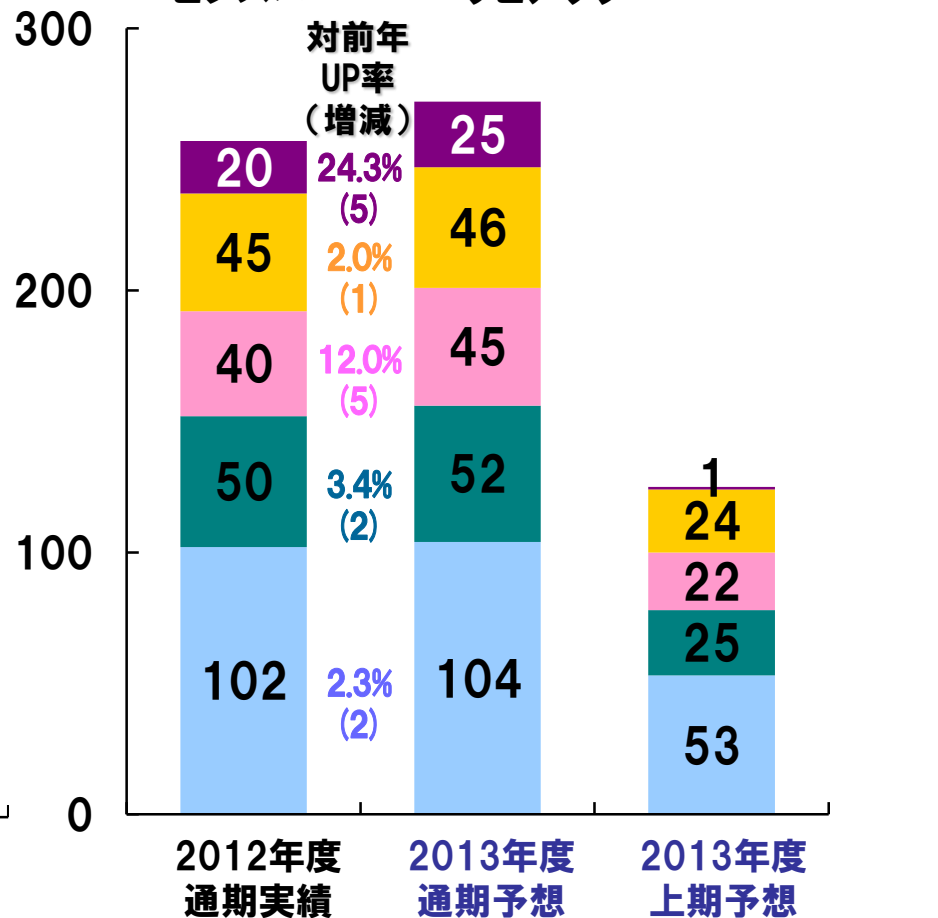
◆ 3品目

■ クレストール ■ イルベタン ■ サインバルタ



◆ 5品目

■ オキシコンチン ■ フィニバックス ■ ディフェリン
■ ピレスパ ■ ラピアクタ



クレステールクリフを見据えた体質改善

第3次中計期間中の業績推移（連結）



() : 対売上高比率 %

* : クレストールのロイヤリティー

** : 米国事業15ヶ月分計上

- R&D費は対売上高比率20%を上限に積極投資
- 販売費・管理費の対売上高比率を毎年度低下
- 売上原価は対売上高比率を一定レベルでコントロール
 - クレストールおよびその他のロイヤリティーを除く売上原価率：
38.3% → 39.1% → 36.9% → 36.5%(予想)



安定的な事業基盤の構築

◆ Dolutegravir（PDUFA:2013年8月）

- ViiV社の経営に参画し、製品価値の最大化に貢献
 - Dolutegravirフランチャイズの販売高に応じたロイヤリティー収入
 - ViiV社株式10%に対する配当金収入

◆ クレストールロイヤリティー

- 特許侵害に対するアストラゼネカ社との連携、法的対応
- 安定的なロイヤリティー収入確保に向けた為替管理

◆ ライセンス活動

- アンメットメディカルニーズならびに自社製品との販売シナジーを勘案したグローバルでのインライセンス活動
- 優先順位付けに基づく自社投資品目の選定と自社アセットの最大化を目指したパートナーリングならびにアウトライセンス活動
- 売上・利益の最大化につながる販売提携交渉

海外販売の拡大

◆ シオノギ Inc.

- Osphena™の早期最大化に向けたアクション(6月発売予定)
 - 既存MRの再配置と増員
 - 学会等への疾患啓発活動とターゲットDr.へのプロモーション
 - DTCによる潜在患者の掘り起し
- 安定化したベースビジネスの収益性維持
 - Osphena, Naprelanを軸に婦人科領域、疼痛領域にリソースを集中
 - コスト管理の徹底、製品ポートフォリオの継続的な見直しにより、収益性を追求 ⇒ Osphenaへの最大投資を実現

◆ C&O

- フルマリンの販売拡大とドリペネムの早期開発・上市

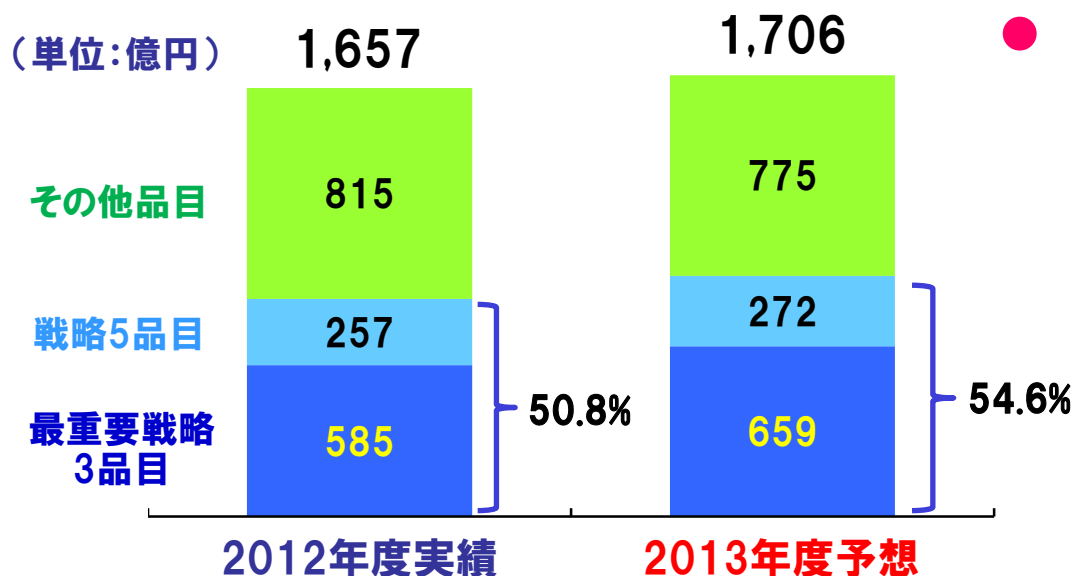
◆ シオノギ Limited

- Ospemifeneの欧州における承認取得ならびに販売パートナー選定
- がんペプチドワクチン等の欧州開発の推進

国内営業の挑戦

◆ MRのディテールインパクト向上による戦略8品目の拡大

- 積み上げ式の販売諸経費の考え方を一新し、製品個々のライフサイクルや市場動向に応じた経費の最適投入により、収益性を改善
- シオノギオリジナルの販売理念に立ち戻り、医療機関での信頼、存在感を向上
- 新たな組織体制下で現場と本社との一体感を高め、フィールドを支援



● 2013年度の取り組みポイント

- 行動改革と生産性向上
- 戦略8品目を対前年比で10%以上拡大
 - クレストール: シオノギのトップ製品として注力を継続する
 - イルベタン: 単剤、配合剤のシナジーにより、シェアを拡大する
 - サインバルタ: 抗うつ市場でのNo.1ポジションの獲得を目指すとともに、疼痛市場への浸透を進める

原価低減に向けた取り組みの継続

● 製造コスト改善に向けた継続的な取り組み

- 原料購買先や外注加工費の見直し、自社製造品の他社移管を含めた検討
- 設備投資時期、修繕・保守費用等の見直しとバジェット管理の徹底

● 原価低減に向けた施策の推進

- サインバルタのペレット自製化による貢献を拡大
- イルベタンの製造収率改善による貢献を拡大
- その他品目についても中長期視点で改善努力を継続中

● 2013年度の取り組みポイント

- 生産本部とグローバルSCM(サプライチェーンマネジメント)本部との連携を一層強化し、企画から調達、生産、在庫管理に至るグローバルな生産管理体制の構築を本格化させる
- シオノギ Inc.と密な連携を図り、Osphena™の迅速な市場投入ならびにその後の安定供給を通じて、連結ベースの原価低減に貢献する

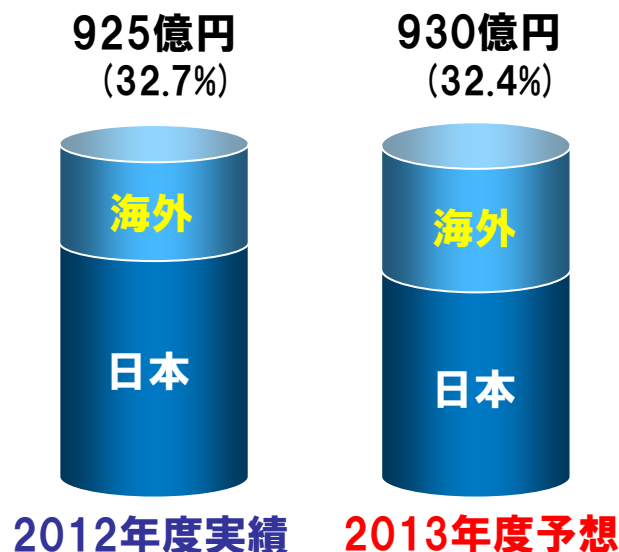
販売費・一般管理費の洗い直しと配分最適化

- バジェット制の定着により、コスト管理意識が全社的に浸透



- 2013年度を「シオノギのグローバル元年」と位置付け、グループ全体で必要経費の見直しならびにコスト配分の最適化を実行

《販売費・一般管理費（R&D費除く）》



- 2013年度の取り組みポイント

- Osphena™の早期最大化に向けて、最優先で費用を配分する
- 各バリューチェーンで固定的に発生している費用をゼロベースで検証する
- 連結ベースの総額で前年と同レベルに維持し、米国事業への先行的投資を実現する

Dolutegravirに続く成長ドライバーのグローバル開発を加速

◆ Ospemifene(Osphena™)

- 米国：疾患啓発による市場拡大ならびにブランド育成
- 欧州：規制当局へのスムーズな対応と販売パートナー交渉
- アジア：開発展開の検討

◆ S-297995

- グローバルPhase III試験の開始

◆ S-555739

- 日本：季節性アレルギー性鼻炎を対象にPhase III試験を先行実施中
- 欧米：用量設定試験の開始

◆ がんペプチドワクチン

- 5種ペプチドカクテルワクチン(S-588410)として、膀胱がんを優先し、日欧でPOC試験開始
- POC試験と併行してグローバルPhase III試験の準備について検討



クレストールクリフを乗り越える再成長ビジョン

クレストールクリフ

再成長の時代

2010年度～

- ・ 米国事業構造改善
- ・ 3極の拠点整備

2012年度

- ・ ViiV社との枠組み変更
- ・ DTGのグローバル申請
- ・ Osphena™の米国承認

成長ドライバーの継続上市

(S-297995, S-555739, がんワクチンなど)

Dolutegravirフランチャイズの成長

(ロイヤリティー収入・ViiV社配当金)

Ospemifene (Osphena™) の成長

2010

2012

2014

2016

2018

2020

第3次中期計画

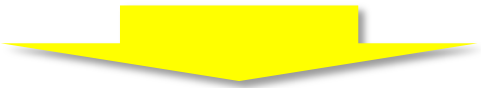
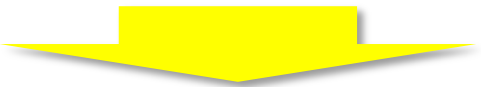
第4次中期計画

第5次中期計画



株主還元について

今後の配当方針について

- 第3次中期経営計画において、今後の事業展開に向けた資金需要と業績動向に応じた利益配分を基本に、中長期的で安定的な配当の向上を目指してきた(連結配当性向35%)

- 2012年度までの事業活動の成果により、
 - 抗HIV薬に関する将来収益の見通しを明確化した
 - 今後のR&D投資の確保ならびに財務健全化に一定の目途が立った
 - Dolutegravirの上市確度の向上、Osphena™の承認、その他成長ドライバーの順調な開発進展により、 Crestor クリフ対策の具体化が加速した
- 2015年度までは順調な成長が見込まれることから、以下のポイントを勘案し、今後の配当方針について検討を実施した
 - 今後の成長に向けた事業投資、財務体質強化とのバランス
 - 2016-17年度においても安定的な配当が可能な水準

- 業績に応じた配分を基本に、引き続き安定的な配当の向上を目指すとともに、**連結配当性向の目標を40%に引き上げ**、株主様に成長をより実感していただける利益還元を図っていく

2012年度および2013年度配当について

	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中 間	期 末	年 間	
	円 銭	円 銭	円 銭	
2009年度	18.00	18.00	36.00	31.2%
2010年度	20.00	20.00	40.00	66.9%
2011年度	20.00	20.00	40.00	49.4%
2012年度	20.00	(予定) 22.00	(予定) 42.00	21.1%
2013年度	(予定) 22.00	(予定) 22.00	(予定) 44.00	39.8%

- 2012年度は期末配当を2円引き上げ、1株当たり42円を予定
 - 事業活動(税金費用のマイナスを除く)による当期純利益ベースでの連結配当性向は約40%
- 2013年度の配当は、1株当たり44円を予定

Appendix

開発品の進展（2012年度3Q決算発表以降）

開発No.【製品名】	薬効（剤型）	適応症	ステージの進展
Ospemifene	選択的エストロゲン受容体 モジュレーター（経口）	閉経後膣萎縮症	米国：申請中（2012年4月）⇒ 承認（2013年2月） 欧州：申請準備中 ⇒ 申請中（2013年3月）
LY248686 （デュロキセチン塩酸塩） 【サインバルタ®】	SNRI（セロトニン・ノルアドレナ リン再取り込み阻害薬） （経口）	慢性腰痛症	日本：フェーズⅢ
S-877503	非中枢神経刺激薬（経口）	ADHD	日本：フェーズⅡ／Ⅲ準備中 ⇒ フェーズⅡ／Ⅲ
S-877489	中枢神経刺激薬（経口）	ADHD	日本：フェーズⅡ準備中 ⇒ 日本：フェーズⅡ
S-649266	セフェム系抗生物質（注射）	各種細菌感染症	米国：フェーズⅠ
S-414114	NF-κB デコイオリゴ（外用）	アトピー性皮膚炎	日本：フェーズⅠ準備中

＜導出品＞

ADHD: Attention deficit hyperactivity disorder

開発No.	薬効（剤型）	適応症	ステージの進展	開発
Janssen/シオノギ β- セクレターゼ阻害薬	β-セクレターゼ 阻害薬（経口）	アルツハイマー病	欧州：フェーズⅠ	Janssen Pharmaceuticals社 （米国）

開発要請を受けた品目の進展（2012年度3Q決算発表以降）

一般名【製品名】	薬効（剤型）	適応症	ステージの進展
オキシコドン塩酸塩水和物 【オキシコンチン®】	アヘンアルカロイド系麻薬 （経口）	中等度から高度 の慢性疼痛にお ける鎮痛	治験準備中 ⇒ フェーズⅢ
シクロホスファミド水和物 【注射用エンドキサン®】	アルキル化剤（経口）	褐色細胞腫	公知申請（2012年11月） ⇒ 承認（2013年3月）
プレドニゾン 【プレドニン®錠 5mg】	合成副腎皮質ホルモン剤 （経口）	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー	公知申請の「該当性あり」と評価 ⇒ 公知申請（2013年2月）
メトレプチン	ヒト型レプチン（遺伝子組換 え） （注射）	脂肪萎縮症	申請中（2012年7月） ⇒ 承認（2013年3月）
メロニダゾール 【フラジール®】	抗原虫薬（経口）	ヘリコバクター・ ピロリ感染胃炎	公知申請（2012年8月） ⇒ 承認（2013年2月）

パイプラインの状況（2013年5月時点）



申請・承認

感染症

S-649266（各種細菌感染症） 日本:Phase I、**米国:Phase I**

MS

S-474474（高血圧症）

日本:申請中(2012年7月)

S-2367（肥満症） 日本:Phase IIb

S-556971（脂質異常症） 日本:Phase IIb

S-707106（2型糖尿病） **米国:Phase IIa**

S-234462（肥満症） **米国:Phase I**

疼痛

サインバルタ[®]（線維筋痛症） 日本:Phase III

サインバルタ[®]（慢性腰痛症） **日本:Phase III**

オキシコンチン[®]（慢性疼痛における鎮痛） **日本:Phase III**

S-297995（オピオイド副作用緩和） **グローバル:Phase III準備中**

S-117957（神経障害性疼痛） **米国:Phase I**

S-120083（炎症性疼痛） 日本:Phase I

赤字: 申請・承認取得
青字: Phaseの進展

パイプラインの状況（2013年5月時点）



申請・承認

ペプチド
ワクチン

Phase I Phase IIa Phase IIb Phase III

S-288310(膀胱がん) アジア:Phase I/II
S-488410(食道がん) 日本:Phase I/II
S-488210(頭頸部がん) 欧州:Phase I/II
S-646240(加齢黄斑変性症) 日本:Phase IIa

赤字: 申請・承認取得
青字: Phaseの進展

Ospemifene(閉経後膣萎縮症) 欧州:申請中(2013年3月)、米国:承認(2013年2月)

PSD502(早漏) 米国:Phase III

S-555739(アレルギー性鼻炎) 欧州:Proof of Mechanism、米国:Phase IIa、日本:Phase III

S-524101(ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎) 日本:Phase II/III

その他

S-877503(ADHD) 日本:Phase II/III

S-877489(ADHD) 日本:Phase II

S-888711(血小板減少症) 欧米:Phase II、日本:Phase IIb

S-222611(悪性腫瘍) 欧州:Phase Ib

S-414114(アトピー性皮膚炎) 日本:Phase I 準備中

<導出品>

S/GSK1349572(HIV感染症) グローバル:申請中(2012年12月)

S/GSK1265744 LAP 持続性注射剤(HIV感染症) 米国:Phase II



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

End of File